

『トンボの眼』企画

田中俊明先生同行解説『韓国の王都をめぐるシリーズ・第2回』

『百済王都をめぐる/扶餘・益山編』

2012年9月23日(日)~9月26日(水) 4日間



**扶餘博物館** 百済金堂大香爐 百済(6世紀)  
**のシンボル** 国宝 第287号 高:62.5cm

「文化遺産と共に生きる」をテーマとする

企画：『トンボの眼』編集室

旅行企画・実施：株式会社 道祖神

旅行取扱：(株)Jトラベルセンター

『第2回・百済王都をめぐる/扶餘・益山編』

ポイント

漢城から公州、そして538年に再度、泗泚（扶餘）へ都を南遷、そして白村江の戦いで滅亡。  
 ・ ・ ・ 今回の旅『扶餘・益山編』では百済中・後期の王都・扶餘から滅亡の故地・錦江河口まで一扶余、益山、群山、舒川まで田中俊明先生のご案内で丹念に訪ねます。  
 現地に精通された田中俊明先生同行解説ならではの充実の旅です。

- 期間：9月23日（日）～9月26日（水）＝4日間
- 旅行代金：168,000 円（2名1室）
- 一人部屋追加料金：24,000円
- ◆食事：朝3回・昼3回・夕3回付
- ◆羽田発着 ◆最少催行：10名 定員：20名
- ◆添乗員：『トンボの眼』編集室長・佐々木が羽田より同行いたします。

～ 日程 ～

	日時	発着	スケジュール	食事
1	2012年 9月23日 (日)	羽田 金浦 扶餘	羽田空港(08:30)→日本航空JL091 →(10:50)金浦着＝扶餘(扶餘博物 館・定林寺址・官北里遺跡・軍守里寺 址・宮南池) (扶餘・ロッテリゾート 泊)	夕
2	9月24日 (月)	扶餘	展示室・扶蘇山城・白馬江・錦城山< タクシー利用>・青山城・東南里寺址 他) (扶餘・ロッテリゾート 泊)	朝 昼 夕
3	9月25日 (火)	扶餘 論山 益山	扶餘＝論山(黄山原古戦場)＝益山 (弥勒寺址・同展示館・王宮里遺跡・ 同展示館・帝寺址・双陵・円光大学校 博物館) (益山・益山グランドホテル 泊)	朝 昼 夕
4	9月26日 (水)	益山 金浦 羽田	益山(笠店里古墳群・同展示館)＝群 山(群山大学校博物館)＝舒川(錦江 河口・白村江推定地)＝金浦空港 (19:20)→JL091→羽田空港(21:25) 解散	朝 昼

：記日程は、航空会社、現地の止むを得ない事情により変更をせざるを得ない場合がありますので予めご了承願います

～見どころ～

●国立扶餘博物館

11,000点以上の貴重な遺物が先史室、歴史室、仏教美術室、企画展示室など4つの展示室に分けられ展示されている。百済文化の粋「百済金銅大香炉」は必見。



●扶蘇山

眼下に白馬江が流れる海拔94メートル、百済時代の扶蘇山城があった。百花亭、泗泚楼、半月楼、宮女祠、阜蘭寺、扶蘇山城(史跡第5号)宮女投身の伝説を残す落花岩など百済の歴史と百済王室の話が至る所に潜んでいる。



●定林寺址

王都時代の中心的寺院。国宝の五層石塔が今も残る。中国南朝の梁は541年に仏典や画家などを百済に送ったとの記録があり、梁からの技術者が新しい都にふさわしい施設として造ったと考えられている。



同行講師：田中 俊明先生の横顔

1952年福井県生まれ。1982年京都大学大学院文学研究科博士課程修了。堺女子短期大学講師・助教授を経て、現滋賀県立大学教授。朝鮮古代史・古代日朝関係史、ことに伽耶史に取り組み、高霊の大伽耶を中心とする大伽耶連盟の概念は、韓国伽耶史研究においても支持されるものとなっている。主要著書 『韓国の古代遺跡1新羅篇(慶州)』（森浩一監修・東潮と共編著）中央公論社、『韓国の古代遺跡2百済・伽耶篇』（森浩一監修・東潮と共編著）中央公論社、『大伽耶連盟の興亡と「任那」一加耶零だけが残った』吉川弘文館、『高句麗の歴史と遺跡』（東潮と共著）中央公論社など多数。

## ～見どころ続き～

### ●官北里遺跡

扶蘇山山麓にあり百濟時代の石槽、柱址、道路址、池、扶蘇山麓の築台、排水路、瓦葺きの家などが発見され、王宮址の有力な候補地となった。

### ●軍守里寺址

百濟時代の寺名はわからないが、定林寺、扶蘇山西腹寺址、佳塔里廢寺と並ぶ、泗泚扶餘城内の寺であった。

### ●宮南池

王宮の別邸に作られた韓国最古の人工池を復元したもの。慶州にある「雁鴨池」の造園や、後の日本造園技術にまで影響を及ぼしたといわれる。

### ●王興寺址

扶蘇山の対岸にある百濟末期の寺址で、威徳王が父・聖明王のために定陵寺をつくり、息子の為に王興寺を造ったとされる。王の時期は中国北朝の影響が強まる時期で、百濟仏教も山東半島に栄えていた寺院文化の影響を受けているとされる。

### ●益山 弥勒寺

武王朝時代の創建、塔と金堂(大雄殿)が3ヶ所ずつある独特な寺院形式である。西にある6層、14.2メートルの塔が弥勒寺址石塔(国宝第11号)で、600年建立と推定される。花崗岩で木塔の形を作った最初の塔である。遺物展示館では金堂如来立像など百濟人の工芸文化にふれることが出来る。

### ●王宮里遺跡

武王時代に造成された王宮址で、南北490メートル、東西240メートル規模。石築城壁の内側に大規模な建物の址、庭園、工房、トイレなど様々な遺構が出土、王宮里遺跡展示館には発掘からわかった百濟の建物、王宮生活、王宮から寺院への移り変わり、百濟の王宮など5分野に分けて展示されている。

### ●帝寺址

武王の時代に創建された帝釋寺址。639年に落雷で燃えたが、再建、仏舎利と金剛般若經を入れた箱が保存されて再び安置されたという。発掘調査により、木塔跡、金堂跡地などの基壇が確認され、「帝釈社」という文字が彫られた唐草瓦が出土した。

### ●双陵

武王と王妃・善花公主の陵と伝えられる大小二つの横穴式石室墳で、南北に200mほど離れ向き合っている。陵山里古墳群と同じく平斜天井構造であるが、陵山里古墳群より規模が大きい。大王墓からは日本から輸入されたコウヤマキ製の公州武寧王陵に類似した棺が発見された。近くに弥勒寺や武王関係の遺跡が多いので、武王陵である可能性が高いと考えられているが、具体的な証拠はない。

### ●笠店里古墳群・同展示館

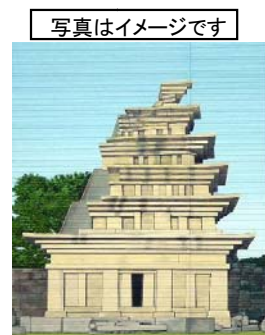
錦江を背にする丘陵に広がる21基(3基は群山市側)の古墳群。未盗掘だった1号墳は横穴石室墳(片袖式)、穹隆式天井で、公州の宋山里古墳群の構造に似ている。金堂製の冠帽、耳飾り、飾履、鉄製馬具、中国南朝の青磁性四耳壺、他に多くの百濟土器が発見された。金銅製冠帽は韓国全羅南道高興、羅州、慶尚南道陝川から類似のものが発見されている。百濟の中央政権が、地方政権に対して与えた物で、その地域が百濟の勢力圏に入っていることが分かる。



宮南池



発掘時の王興寺跡



弥勒寺址 石塔



王宮里遺跡 五重石塔



双陵



金銅製冠帽

写真はイメージです

## ＜ 参加申込書 ＞

2012年9月23日発 韓国の王都をめぐるシリーズ・第2回『百済をめぐる/扶餘・益山編』4日間

フリガナ		生年月日	西暦	年	月	日
氏名	男 ・ 女	お一人部屋希望	(別料金です)	希望する	希望しない	
		トンボの眼		会員	非会員	
住所	〒            —	同行者氏名住所				
			ローマ字名 (パスポートと同じ)			
TEL		パスポート	パスポート番号			
FAX			発行年月日	年	月	日
E-mail			有効年月日	年	月	日
携帯電話			緊急連絡先	お名前: お電話番号:		

※参加ご希望の方は、上記申込書をご記入の上、弊社までFAX(03-6402-7583)またはご郵送下さい。

ご旅行条件（要約）お申し込みの際は別途お渡しする旅行条件書をご一読下さい

- |  |   |
|--|---|
| <p>1.募集型旅行契約の部<br/>この旅行は、株式会社道神(観光及産業旅行業第1種-757号、以下当社といいます)が企画する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。募集型企画旅行契約の内容・条件は、パンフレット、本旅行条件書、出発前にお渡しする最終旅行日程及び当社旅行契約約款によります。</p> <p>2.旅行のお申し込み<br/>当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入の上、下記の申込金を添えてお申し込みいただきます。申込金は旅行代金をお支払いいただくときに、その一部として繰り入れます。<br/>区分 申込金(お一人)<br/>旅行代金が90万円未満50,000円以上旅行代金まで 30,000円</p> <p>3.旅行契約の成立時期<br/>旅行契約は、当社が第2項の申込金を受領した時に成立するものと致します。(運賃契約の場合を除きます)</p> <p>4.旅行代金に含まれるもの<br/>(1)旅行日程に明示した航空、船、鉄道等利用交通機関の運賃(コースにより等級が異なります)<br/>(2)旅行日程に含まれる送迎バス等の料金(空港・駅・埠頭と宿泊場所/旅行日にお客様負担)と表記してある場合を除きます)<br/>(3)旅行日程に明示した観光の料金(バス料金・ガイド料金・入場料)<br/>(4)旅行日程に明示した宿泊の料金及び税・サービス料金(2人部屋に2人ずつの宿泊を標準とします)<br/>(5)旅行日程に明示した食事の料金・税・サービス料金<br/>(6)手荷物の運賃料金<br/>お一人様スーツケース1個の手荷物運賃料金(お一人様20kg以内が原則となっておりますが、方面によって異なります)で明示はは振員にお尋ね下さい手荷物の運賃は当旅運賃振員が行い、当社が運賃期間に運送委託手続を代行するものです。<br/>(7)団体旅行中の心付<br/>(8)振員費用<br/>上記諸費用はお客様のご都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しは致しません。</p> | <p>5.旅行代金に含まれないもの(前項4項の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします)<br/>(1)超過手荷物料金(規定の重量・容量・個数を越える分について)<br/>(2)フリードリンク代、電報電話料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付、その他追加飲食等個人的性質の娯楽用品及びそれに伴うサービス料<br/>(3)渡航手続き関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続き取扱料)<br/>(4)お一人部屋を使用される場合の追加代金<br/>(5)ご希望者のみ参加されるオプション・ツアー(別添料金の小旅行)の料金<br/>(6)日本国内の空港施設使用料<br/>(7)日本国内におけるご自宅から発着空港までの交通費・宿泊費<br/>(8)旅行日程中の空港税(日本国内通行税を含む)、但し、空港税等を含んでいる事が表記されているコースを除きます)<br/>(9)運送機関等の課す付加運賃・料金<br/>6.旅行契約の解除・払戻し<br/>お客様は次に定める取消料をお支払いいただく事により、いつでも旅行契約を解除する事ができます。<br/>契約解除の日 取消料(お一人様)<br/>旅行開始日以前1ヶ月の旅行で、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目にある日以降 旅行代金10% (最高50,000円まで)<br/>旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にある日以降3日目にある日まで 旅行代金が30万円以上……………50,000円<br/>旅行代金が15万円以上30万円未満……………50,000円<br/>旅行代金が10万円以上15万円未満……………40,000円<br/>旅行代金が10万円未満……………旅行代金の30%<br/>旅行開始日の前々日～当日 旅行代金の100%<br/>旅行開始後の解除または無運賃不参加 旅行代金の100%<br/>注①(一ヶ月)とは、4月27日～5月6日、7月20日～8月31日、12月20日～1月7日を言います。<br/>7.当社は別途定める契約内容の重要な変更が生じた場合は、旅行代金に一定の率を乗じた変更保証金を支払います。詳しくは、別途交付する詳細旅行条件書でお確かめください。</p> |
|--|---|

旅行お申込み先:株式会社Jトラベルセンター 企画販売部(東京都知事登録旅行業 第2-5961号)

〒105-0013 東京都港区浜松町1-7-3 第一ビル

TEL 03-6402-7585 FAX 03-6402-7583

**担当:木村・水澤**